

## 林業経済学会研究会 Box 『森林管理制度論』の課題と方法

昨年度の3回の研究会 Box に引き続き、来年度出版予定の志賀和人編著『森林管理制度論』(草稿)をもとに『森林管理制度論』の課題と方法をテーマに下記により研究会 Box を開催します。林政学や林業経済研究における制度把握の批判的検討や森林管理制度論の方法、法制度・政策の論じ方について、参加者と議論を深めたいと思いますので広範な参加を期待しております。

2015年12月10日(木)13:30~17:00 筑波大学東京キャンパス文京校舎1階122講義室

[http://www.tsukuba.ac.jp/access/bunkyo\\_access.html](http://www.tsukuba.ac.jp/access/bunkyo_access.html)

座長 立花敏(筑波大)

13:30 趣旨説明 志賀和人(筑波大)

13:35 森林管理制度論の射程と方法 志賀和人(筑波大)

13:50 森林管理制度論における法制度・政策の論じ方 山本伸幸(森林総研)

14:05 新制度学派の立場でみた森林管理制度 林雅秀(山形大)

14:35 森林管理制度論から見えるもの、見えにくいもの 山下詠子(恵泉女学園大)

15:05 休憩

15:20 討議

17:00 終了

17:15~19:45 懇親会(食彩酒席ビカヴォ)

資料請求 事前に『森林管理制度論』(未定稿)の志賀・山本執筆分のPDF(後掲目次の序章、第2章、第5章、終章)を送付します。希望者は下記アドレスに11月30日までにご連絡ください(資料送付は、参加者のみとします)。

懇親会 懇親会の参加希望者は、12月4日まで志賀までご連絡ください(参加費5,000円)。当日の飛び入り参加は、想定しておりません。

連絡先 305-8572 つくば市天王台1-1-1 筑波大学生命環境系教授 志賀和人

029-853-7497 Fax.029-853-4761 [shiga.kazuhito.ft@u.tsukuba.ac.jp](mailto:shiga.kazuhito.ft@u.tsukuba.ac.jp)

### 目次構成 (序章と第5章を中心に議論の予定)

#### 序章 森林管理制度論の対象と方法(志賀和人)

##### 第1節 森林管理問題と林政研究

###### 1.森林管理制度論の射程

(1) 現代日本の森林管理問題

(2) 本書の視点と構成

###### 2.森林管理概念の変遷と林政学

(1) 森林管理の国際化と現代的な管理

(2) 林政学の研究史と主要文献

(3) 日本の林政学研究と森林管理制度

###### 3.林業経済学の研究史と社会・歴史認識

(1) 林業経済学の社会認識

(2) 「森林社会」論・コモンズ論の歴史認識

##### 第2節 近代林政の展開と経路依存性

###### 1.森林利用・経営・管理の展開過程

(1) 森林管理の基層と経路依存性

(2) 自給的利用段階の森林利用

(3) 林野所有権と利用権をめぐる歴史

(4) 林野所有の形成と森林経営の展開

(5) 持続可能な森林管理と森林法制

###### 2.近代日本林政の形成と虚構性

(1) 時期区分と制度統合

(2) 近代林政形成期:官民有区分と第1次森林法の成立

(3) 官林経営展開期:御料林・国有林経営組織と植民地開発

3.戦後日本林政の制度変化と流転

- (1) 戦後再編期:林政統一・戦後体制の制度化
- (2) 「生産力増強」期:国有林経営「近代化」と基本問題答申
- (3) 基本法林政期:国有林累積債務と構造政策
- (4) 基本政策期:経営主義林政と戦後性の転

第3節 研究対象と森林管理制度論の方法

- 1.研究対象の特徴と多様性
- 2.林政学的制度論との相違点
- 3.森林管理制度論の社会認識

## 第1章 木材市場の展開と木材産業(立花敏)

第1節 一般経済と林業セクター

- 1.日本の近代化と経済発展
- 2.国家経済における林業の位置づけ
- 3.林業セクターへの社会・経済的ニーズ

第2節 木材産業の展開と外材依存

- 1.木材需給と木材輸入
- 2.木材産業の盛衰
- 3.分業への展開と統合への回帰

第3節 木材利用様式の変容と木材流通の変化

- 1.木材利用の変容
- 2.流通機構の発展と流通の複雑化
- 3.ローカルからグローバルへ

## 第2章 市場経済と林業経営(志賀和人)

第1節 森林管理制度と市場経済

- 1.日本の森林管理と林業
  - (1) 森林林業と森林管理
  - (2) 森林管理問題の地域的多様性
- 2.保護・保全的管理と施業規制
  - (1) 保護地域のカテゴリと管理方針
  - (2) 自然公園地域の地種区分と施業規制
  - (3) 保安林と指定施業要件
  - (4) 国有林の保護地域管理と保護林
- 3.森林資源の保続と育林投資

- (1) 森林資源の構成
  - (2) 森林整備の展開と造林政策
  - (3) 林業経営統計と育林費調査
  - (4) 土地純収穫・森林純収穫説の経営モデル
- 4.人工林の循環利用と木材産業

- (1) 素材生産と人工造林の地域動向
- (2) 林業・木材産業・行政の組織間関係

第2節 森林所有と林業経営体

- 1.林業経営体の統計把握
  - (1) 山林の所有と保有
  - (2) 林業センサスの調査客体と外形基準
  - (3) 2005年センサス体系の再編と問題点
  - (4) 林業事業体の区分と山林保有規模
- 2.森林経営の事例分析
  - (1) 森林経営の長期変動と所有権移動
  - (2) 御料林・国有林と管理組織
  - (3) 公有林・入会林野と地域
  - (4) 大規模私有林と地主的資金運用
  - (5) 大規模会社有林と企業組織

3.ドイツ語圏の森林経営

- (1) 連邦森林経営統計の経営概念
  - (2) オーストリア連邦有林
  - (3) スイス・ゲマインデ有林の経営再編
- 4.森林経営類型と日本的経営の脆弱性

- (1) 経営類型と経営・財務管理
- (2) 基本政策の経営ビジョン

第3節 中小規模私有林と森林共同組織

- 1.森林共同組織の諸形態
- 2.森林組合制度と森林組合論
- 3.中小規模私有林と山村問題

## 第3章 林業担い手像の再構成(興杓克久)

第1節 林家経営論の再構成

- 1.林家の歴史的 성격と分析視角
  - (1) 多様化する林業担い手像と自伐林業への注目
  - (2) 林家経営の歴史的 성격
  - (3) 林家経営の分析視角
- 2.林家の機能集団化と集落営林への道
  - (1) 林家の機能集団化
  - (2) 集落営林組織の設立
  - (3) 3つの視点からの評価
  - (4) 新しい集落営林への道程
- 3.共有林管理タイプの集落営林
  - (1) 「手づくり自治区」の形成過程
  - (2) 住民による財産区有林の「自伐」的管理

第2節 林業事業体と林業労働力の基本問題

- 1.森林・林業基本法下の林業事業体問題
  - (1) 林業政策の転換と林業構造ビジョン
  - (2) 林業事業体の生産資本への純化傾向
  - (3) 林業事業体の経営展開方向
- 2.林業労働力の歴史的 성격と政策展開
  - (1) 雇用近代化と森林組合作業班の端緒(1950~80年代)
  - (2) 林業事業体の雇用戦略の多様化(1990年代以降)
  - (3) 林業労働力の今日的な存在形態

第3節 「緑の雇用」の展開過程と性格規定

- 1.「緑の雇用」の成り立ちと展開
- 2.「緑の雇用」の効果と課題
- 3.「緑の雇用」の性格規定

## 第4章 森林の観光レクリエーション利用と地域資源管理(土屋俊幸)

第1節 新たな市民的利用としての観光レクリエーション利用

- 1.森林管理における観光レクリエーションの位置付け
- 2.観光レクリエーションの進展
- 第2節 観光資本による観光レクリエーション開発の意味
  - 1.観光開発の日本的発展
  - 2.鉄道資本による観光開発の展開
- 第3節 観光レクリエーションと公共的サービス
  - 1.社会資本としての観光レクリエーション
  - 2.自然公園・国有林・森林公園
  - 3.地域資源管理の一環としての多面的森林管理

- 1.社会資本としての観光レクリエーション
- 2.自然公園・国有林・森林公園
- 3.地域資源管理の一環としての多面的森林管理

## 第5章 森林管理と法制度・政策(山本伸幸)

第1節 近現代日本林政の基底

- 1.近現代日本林政へのまなざし
  - (1) 近現代日本林政とは何か

- (2) 近現代日本林政の6視点
- 2. 森林法の変遷
  - (1) 森林法の世界史的展開
  - (2) 日本における森林法の黎明と展開
  - (3) 森林法の現在
- 3. 国土保全政策の中の森林
  - (1) 戦前期の保安林制度と治山事業
  - (2) 公共事業と戦後の保安林制度・治山事業
- 4. 資源政策の展開
  - (1) 営林の監督と森林計画制度
  - (2) 森林資源の助長
  - (3) 公有林野政策
- 第2節 伏流化する国有林政策
  - 1. 国有林の確立
    - (1) 官民有区分と行政機構の発達
    - (2) 国有林野法の成立
  - 2. 国有林経営の展開
    - (1) 国有林野特別経営事業
    - (2) 昭和前期の国有林
  - 3. 戦後復興, 高度経済成長と国有林
    - (1) 林政統一と特別会計制度の発足
    - (2) 林増計画と木増計画
  - 4. 国有林と現代社会
    - (1) 自然保護運動の高まりと経営改善の動き
    - (2) 一般会計化へ
- 第3節 流転する日本林政

- 1. 生成期の産業政策
  - (1) 日本資本制勃興と産業政策の生成
  - (2) 戦前期産業政策の成熟
  - (3) 戦時経済下の産業政策
- 2. 基本法林政の時代
  - (1) 高度経済成長と林業基本法の成立
  - (2) 林業基本法と林業構造政策
  - (3) 地域林業政策から森林・林業基本法へ
- 3. 社会政策と環境政策
  - (1) 社会政策としての山村問題・労働問題
  - (2) レクリエーション利用と自然保護問題
  - (3) 公害問題・地球環境問題
- 終章 戦後林政の克服と制度改善(志賀和人)**
  - 1. 現代日本の森林管理と制度統合
    - (1) 近代林政の基層と戦後林政
    - (2) 地域森林管理の脆弱性と森林法制
    - (3) 基本政策の枠組みと論点
  - 2. 育林投資の非流動性・不確実性の縮減
    - (1) 主伐・再造林と持続可能な経営の創出
    - (2) 資金循環の改善と政策論理の再構築
    - (3) 林業技術者の任務とキャリア形成
  - 3. 利用・経営・管理の再定義と制度改善
    - (1) 土地利用・環境管理と地域的公共性
    - (2) 制度発展と住民的森林利用
    - (3) 森林所有と利用権の公共的制御
    - (4) 行政任務の再定義と行政組織の再編